

令和6年度

学校だより

NO. 12

R7. 3. 25

まいづるの子

～ふるさとを愛し 羽ばたく子に～

甲府市立舞鶴小学校



編集 校長 小尾 俊彦

卒業式 55人の6年生が立派に巣立っていきました

令和7年3月21日、柔らかな春の日差しの中、甲府市代表、学校運営協議会の委員の皆様をご来賓としてお迎えし、令和6年度 舞鶴小学校第20回卒業証書授与式が行われました。小学校生活最後の授業は、卒業生、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員の思いが体育館の中で一つになり、厳かな中にも、とてもあたたかみのある、忘れることのできない素敵な時間となりました。

本日、6年生の一人一人が立派に卒業証書を受け取ることができたのも、6年間の努力の証だと思います。保護者の皆様をはじめ、これまで育ててくれた多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、新しいステージで活躍してほしいと思います。

ご卒業おめでとうございます。



6年生を送る会

2月21日(金)、6年生を送る会を実施しました。

来年度の児童会本部が中心となり、5年生が企画運営を行い、1年生から4年生までと一緒に、会場の飾り、招待状、メッセージカードなどを準備し、この1年間、舞鶴小を引っ張ってくれた6年生への感謝の気持ちを伝えるために、一生懸命取り組んできました。

6年生の入場では、アーチの手前で一人一人が小学校の思い出や将来の夢を発表しました。伝える内容も一つ一つの所作も素晴らしく、最高学年としての姿に圧倒されました。6年生2択クイズでは、6年生に関する問題を全校で考えました。6年生が下級生と一緒に行動する姿は、とても微笑ましかったです。1年生から5年生までの卒業生へのメッセージは、それぞれの学年が6年生との思い出を語り、最後に全校で歌をプレゼントしました。



最後に6年生が在校生に向けて、小学校生活の思い出の寸劇や、卒業式に向けて練習している合唱曲「最後のチャイム」などを披露してくれました。ユーモアたっぷりの場面と真剣にメッセージを伝える場面があるメリハリのある発表にも、6年生の凄さを感じました。

全校が一堂に会する機会は、あとは離任式です。6年生を送る会は、全校の子ども達にとって、最も光輝く最光の思い出になりました。



特別代表委員会

2月27日(木)と28日(金)、2日間にわたり、今年度の児童会活動の反省を話し合う特別代表委員会を行いました。

最初に、今年度の児童会テーマや、重点活動である「最光の絆」「最光のあいさつ」「最光の思いやり」「最光のそうじ」について児童会本部から提案があり、それらの提案に対して各学級で話し合われた意見が次々と出されました。賛成意見だけでなく、来年度に向けて、さらに活動を盛り上げたいという意見がたくさんあり、各学級で充実した話し合いが行われたことが感じられました。

その後、7つの委員会の委員長からの今年度のまとめなどもあり、学校のために一生懸命に活動してきた成果が次々と発表されました。



来年度の新児童会役員も出席する中、活動につながる実りある特別代表委員会になりました。

新旧児童会引継式

3月5日(水)の学校集会は、新旧児童会引継式を行いました。現会長から新会長へ、「舞鶴小児童会を任せます」という気持ちを込めて、今年1年間取り組んできた活動の企画が詰まったファイルが手渡されました。新会長からは、来年度、誰一人取り残されることなく楽しい学校生活を送ることが出来るように取り組んでいくという力強い言葉がありました。

今年度の6年生が全力で取り組んできた思いを、ぜひ来年度につなげて欲しいと願います。

